



4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
いちご	章姫	促成地床	3,300kg	砂畑、水田転換畑	2,100㎡

項目	耕 種 基 準			作 業 基 準			10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (% / 10a)
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	機械利 用時間	組 員 人 員	延労働 時 間		
親株床準備 (2a分) (耕耘) (土壌消毒) (ガス抜き) (基肥施用)	9/下~10/下	わかとりふみん 苦土石灰 重焼燐	160kg 8kg 8kg	トラクタ ロータリ	○親株床の準備 ア 親株床を耕耘する。 イ 土壌消毒を行う。 ウ 土壌消毒後にはガス抜きを行う。 エ 定植の一週間前には基肥を行う。 オ 炭そ病防除のため雨よけ育苗とする。	0.5  0.5	1  2 1	1.0  1.0 4.0	軽油 2  軽油 2	
親株定植 (親株定植) (マルチ張り)	11/上	ウイルスフリー(VF)親苗 かん水チューブ	340本 400m		○親株定植と管理 ア VF苗及びVF苗から出たランナーをポットに受け、親株として利用する。		1	9.0		
親株管理 (かん水)  (追肥肥用) (病害虫防除) (ランナー整理)	11/上~5/下	燐硝安加里S604 ベルコート水和剤	30kg 20g	かん水装置 動力噴霧機	イ 親株を11月に定植する。 ウ かん水チューブを設置し、マルチを張る。 エ 適宜、かん水を行う。 オ 病害虫防除を行う。 カ 古葉、病葉を除去し、ランナーの配置を整える。		1 1 1 1	8.0 5.0 12.0 2.0		
ポット育苗準備	5/中~6/中	育苗9cmポリポット 育苗用土 育苗トレイ	9,000鉢 3,000リットル 900枚		○ポット育苗準備 ア 鉢土は無病で排水の良いものを用いる。 イ 育苗ポットに土入れをする。		2	38.0		
ポット育苗管理	6/中~9/中	キッポ青 メリット赤 アミスター2070アブル ダニトロンフロアブル ベルコート水和剤 アントラコール顆粒水和剤	9リットル 1リットル 100g 200ml 100g 400g	かん水装置 動力噴霧機	○ポット苗の管理 ア ランナーをポットに受ける。 イ 乾燥させないようにかん水を行う ウ 葉かきを適時行う。 エ 炭そ病を中心に病害虫防除を行う。 オ 液肥の追肥を3回、葉面散布を1回行う。 カ 梅雨明け後は寒冷紗でハウスを遮光する。	90.0 20.0 4.0 3.0	1 1 1 1	60.0 95.0 30.0 12.0 6.0	ガソリン 70.0 ガソリン 2.0 ガソリン 1.0	
親株後始末	8/下	ゲッター水和剤 バリアード顆粒水和剤	200g 100g		○親株処分 ア 本ぼへの定植が終わったら、親株を処分する。		2	8.0		
本ぼ準備 (土壌消毒) (土作り) (基肥施用)	7/下 8/下	わかとりふみん エッグエース バイオノ有機S ミネパワーS	800kg 60kg 200kg 20kg	軽トラック トラクタ ロータリ 管理機	○本ぼ準備 ア 還元土壌消毒をする。 イ 土作りを行うため堆肥を散布する ウ まんべんなく基肥を施用する。	5.0 3.0	1 2 1	15.0 8.0 11.0	ガソリン 1.5 ガソリン 1.0	
(耕耘) (畦立て)	9/上	ピッカリン 硫酸加里 アクタラ粒剤	80kg 20kg 3kg		エ 畦立てを行い畝で平らにならす。	3.0 8.0	1 1	9.0 22.0	軽油13.5 ガソリン 6.0	
定植 (かん水) (寒冷紗被覆) (寒冷紗除去)	9/上~9/下 9/上 10/上	かん水チューブ 寒冷紗	850m 170m	かん水装置	○定植 ア 株間22cmとし、10a 当たり約7,500株植え付ける。 イ 定植後、十分にかん水を行う。 ウ 定植前に寒冷紗でハウス被覆し、苗が活着したら、寒冷紗を除去する		2 1 2 2	64.0 14.0 8.0 8.0	ガソリン 10.0	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (%/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
株管理 (かん水)	9/中~5/下	かん水チューブ	850m	かん水装置	○かん水 ア 活着まではかん水に努め、マルチ被覆までは畦の表面が乾かない程度とする。 イ マルチ被覆後は生育状況、土壌水分に応じてチューブでかん水する。	65.0	1	70.0	ガソリン 50.0
(摘葉、摘果)	9/下~	寝太郎	40袋	人力	○摘葉、摘果 ア 随時、古葉、病葉、ランナーの除去を行う。 イ 摘果は第一花房7~10果、第二花房5~6果程度にする。 ○二酸化炭素発生剤設置		1	309.0	
(追肥)	12/上~3/下	アミノキッポ733	40リットル		○追肥 ア 第二花房の開花時以降、液肥を適時追肥する。かん水と同時に行う。				
ハウス管理 (マルチ被覆)	10/中~5/下	黒ポリフィルム 内張ビニール	850m 160m	人力	○マルチ被覆、ビニール開閉 ア 出蕾までにマルチを張る。 イ 平均気温が16℃以下になる頃から夜間保温を開始する。 ウ 内張カーテンは11下旬頃から開閉を行う。		4	133.0	
(ミツバチ搬入) (温度管理)	10/下 10/中~4/上	ミツバチ	3群	人力 人力	○温度 ア 昼間23~25℃、夜間5℃以上に保つ。		1 1	1.0 111.0	
病害虫防除 (病害虫防除)	10/上~4/下	アクタラ粒剤 5 アミスター207ロアブル ベルコート水和剤 ロブラール水和剤 カクストライフロアブル トリフミン水和剤 チェス顆粒水和剤 モスピラン顆粒水溶剤 ニソラン水和剤 マイトコーネフロアブル コロマイト水和剤 アフーム乳剤 ノーモルト乳剤 ニーズ(展着剤) スパイデックス スパイカルEX	8kg 400ml 75g 200g 400ml 75g 100g 100g 200g 200ml 300g 150ml 100ml 2,700ml 300ml 250ml	動力噴霧機	○病害虫防除 ア ハダニ、アブラムシ薬剤を交互に散布する。 イ うどんこ病 初期防除を徹底して行う。 ウ 灰色かび病 ハウス内の換気に努め、病葉、病果は取り除く。	18.0	1	45.0	ガソリン 13.0
収穫、調製	11/下~5/下			人力	○収穫、調製、出荷 ア 適熟になったものを早朝に収穫。 イ 出荷規格に合わせてパック詰めを行う。		2 2	270.0 311.0	
出 荷	11/下~5/下			軽トラック	○出荷 ア 集荷場へ運搬する。	33.0	1	73.0	ガソリン 30.0
後片付け	6/上			トラクタ ロータリ	○後片付け ア 株を抜き取り、マルチをはぐる。 イ 畦をくずし、整地する。	4.0	2	36.0	軽油13.5
合 計									1,841.0

## 5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	3,554,100	いちご 生産量①： 3,300 kg 単価②： 1,077 円/kg	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	3,554,100		
生産	種 苗 費	62,458		
	肥 料 費	94,404	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	87,926	〃	
	諸 材 料 費	235,245	〃	
	動力光熱費	39,898		
	農 具 費	37,566	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	111,160	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	10,929		
	雇 用 労 賃	159,429		
	減価償却費⑤	570,133	別表のとおり	
	土地改良費	11,019		
	支払地代⑥	0		
	小計 (B)	1,420,166		
費	販売費一般	出荷資材費	220,183	
	管理費	販 売 諸 費	483,181	
		諸税負担金	7,353	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	11,953	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	31,900	借入資本利率2%
		小計 (C)	754,569	
経 営 費 (D)	2,174,735	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	2,210,650	農 従 労 働 時 間： 1,663.8 生産管理労働時間 36.7 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	4,385,385	主産物単位当たり 1,329 円/kg 注 (E) = (D) + ⑧ - ④		
自己資本	流動資本利子⑨	75,667	注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04	
	固定資本利子	38,774	利率4%	
利子(F)				
自 作 地 地 代 (G)	14,143			
全算入生産費 (H)	4,513,968	生産物単位当たり 1,368 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	1,379,365	時間当たり 811 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	39	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-959,868	注) (K) = ③ - (H)		
家族労働報酬 (L)	1,250,782	時間当たり 736 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-831,285	注) (M) = (I) - ⑧		

